

令和7年 二番茶情勢について

令和7年6月23日現在
J A 静岡経済連 茶業課

1 気象状況

平均気温は、5月から6月中旬まで平年より高く推移しました。降水量は、5月から6月上旬まで平年より多く、中旬は下回りました。

(アメダス菊川牧之原)

時期		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
		本 年	平年差	本 年	平年差	本 年	平年差
5 月		18.0	+0.3	315.5	+108.4	142.7	▲52.8
6 月	上旬	19.9	+0.2	110.5	+58.3	48.9	▲7.3
	中旬	24.0	+3.2	81.0	▲23.7	66.2	+23.3

2 生産状況

- (1) 6月18日前後には県内各産地の工場が概ね出揃いました。早場所ではドリンク契約圃場を残し、今月末までにほぼ終了する見込みです。中場所及び遅場所でも終了する工場が出始めましたが、最終は7月中旬まで続く見込みです。
- (2) 茶商からの数量確保要請に基づき、一番茶摘採後から二番茶摘採までの日数が例年以上となっており、生産後半の反収は増加しています。反収の増加により、荒茶品質は硬葉化しています。堅調な相場展開、数量確保の動きなどから、例年に比べ生産時期は長期化する見込みです。
- (3) 例年、生産後半は炭疽病の発生による品質低下が見られますが、今茶期は病害による品質低下はありません。一部で虫害、水赤み等の欠点が散見されます。
- (4) 生産量は、受注生産に徹した前年(6,500 t)を上回る見込みですが、地域・工場間での格差が見られます。

3 流通状況

- (1) 6月18日頃には操業工場数は増加しましたが、出回り量が少なく、仕入れ計画に達しないことから、現時点でも数量確保の動きが見られます。
- (2) 現在の取引価格は、被覆物が1,600～1,500円程度、露地物は1,400円～1,200円前後と前年を大幅に上回る状況が続いています。
- (3) 県下荒茶平均価格は、前年(612円)を大幅に上回る見込みです。

4 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

近似値数量・単価比(6月23日現在)

(単位: kg・円・%)

項 目		令和7年		令和6年			前年比	
		数量	単価	月日	数量	単価	単価比	単価差
静岡 茶市場	県内産	237,850	1,352	6/23	226,561	623	217.0	+729
	県外産	257,197	1,233	7/1	256,681	636	193.9	+597
鹿児島茶市場		1,191,814	1,411	6/3	1,224,486	768	183.7	+643

*鹿児島茶市場は、5/30からの数値。

(株)静岡茶市場情報(6月23日現在)

県内産二番茶は、各産地が盛期入りし、30,000 kg台の取引が続いています。入札コーナーも本日30点の出品があり、来場した買手の半数以上が入札するなど、相対取引同様に引き合いの強い状況が続いています。

以 上